

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

江本 伸哉

1. 授業の概要(ねらい)

- ①われわれは日々、無意識のうちに「日本経済」の中で暮らしています。しかし、それがあまりにも日常的なために、日本経済のしくみについてじっくりと考える機会が少ないのではないかと思います。
- ②そこで、このゼミでは18人のゼミ生を3人ずつ6つのグループに分け、グループワークを中心に日本経済の基本的な仕組みと課題を理解してもらうとともに、将来の進路、就活について考え、行動するヒントも身につけてもらいます。
- ③教科書の『池上彰のやさしい経済学1 しゅくみがわかる』(日本経済新聞出版社)(全7章)のうち「はじめに」と「第1章」は江本がお手本としてオンラインでお話ししますから、残る第2章～第7章の6つについて、各章を1つのグループが担当し、2回に分けて発表したり・質問に答えたりしていきます。
- ④2回のうち1回目の前半は、担当グループがパワーポイントを使って、その章の要点と疑問点、自分たちで調べて分かったこと(付加価値情報)をみんなの前で発表した後、他のグループが質問(Q)を出します。5分間の休憩の後、後半は私が補足、解説します。就活のヒントも時々お話しします。
- ⑤2回のうち2回目の前半は、発表したグループが1週間かけてじっくり調べた答え(A)をパワーポイントで報告します。これを受けて、さらに他のグループも含めて自由に質疑応答(Q&A)をします。5分間の休憩の後、後半は次週以降の発表・質問に備えて各グループが相談、調査、パワーポイント編集するグループワークに当てます。発表が終わったグループはLMS上に出される「ミニッツペーパー(MP)課題」の復習問題を解いたり、私への質問、感想・意見、要望・授業改善提案などを書く作業をします。
- ⑥「MP課題」については、私なりの回答を「MP通信」にまとめ、次の授業の時に配ります。LMSにもアップロードします。
- ⑦池上さんは難しい経済・政治・国際・社会問題を分かりやすく解説する日本の第一人者で、日本経済についてもよくご存知です。この本をしっかりと読みこなし、さらにこの本が出版された後の最新の日本経済の動きについて自分たちで調べて、ゼミでみんなの前で発表することで、日本経済の基礎や課題がひとりで身につきます。これは社会に出てから必ず必要になる知識であり、知らず知らずのうちに読解力、調査能力、プレゼンテーション能力が高まり、就活にも必ず役に立ちます。
- ⑧2回目のゼミ生自己紹介に続いて、3回目にゼミ生同士、グループの仲間同士がお互いに打ち解けるため、西洋経済史の四谷英理子先生のゼミと合同で親善スポーツ大会を開きます。コロナ対策に注意しながら、バスケットボール、バレーボール、ドッジボールなど軽いスポーツで汗を流し、ゼミ対抗戦を楽しみましょう。好評であれば、秋期にも同様のスポーツ大会を開きます。

2. 授業の到達目標

- ①教科書2冊を1年かけてじっくり、深く読み通す根気を身につける。
- ②日本経済についての基礎的な基礎や課題を理解し、他の人に説明できるようになる。
- ③グループ内で責任を果たし、メンバーと協力して発表準備作業を進められるようになる。
- ④グループ内で教科書の要約(レジюме)を作成し、その疑問点を自分で調べ、分かったこと、最新の情報をパワーポイントで操作しながら発表できるようになる。
- ⑤自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的にまとめられるようになる。
- ⑥就活(将来の進路)についても実的な知識をもち、意欲的に準備を進められるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①出席回数3分の2(原則として10回、公欠は除外して計算)未満の場合は、D2(再試験不可)とし、(たとえ期末レポートを提出しても)単位を与えません。
- ②発表内容(プレゼンテーション、パワーポイントの創意工夫、特に付加価値)50点=グループ単位で評価します(グループ内でもよく協力し、しっかり準備しているか)。
- ③期末レポート50点=個人単位でレポートを評価します(グループは無関係)。
- ④来年度ゼミ募集への協力などゼミへの協力姿勢、グループ内でのリーダーシップ、MPでの鋭い質問、感想・意見、要望・改善提案に対しては、②、③とは別に特別加算(5~20点)をします。
- ⑤ ①~④を総合的に評価して成績をつけます。ただし、「S」は大学の指導(原則として全体の10%以下)により、1人か2人とします。

4. 教科書・参考文献

教科書

池上彰 池上彰のやさしい経済学1
しゅくみがわかる 日本経済新聞出版社

参考文献

藤井彰夫 日本経済入門 日本経済新聞出版社
塚崎公義 一番わかりやすい日本経済入門 河出書房新社
日経ビジネス 日本経済入門 日経BP社

5. 準備学修の内容

- ①ゼミが始まる前に必ず教科書を手に入れて、いちど読み通してください。分からないことがあっても構いません。ゼミで質問して下さい。ゼミで毎回提出してもらう「ミニッツペーパー(MP)課題」に書いてもらっても構いません。
- ②日本経済は生き物です。コロナ前からコロナ後へ、「脱炭素」、国連「SDGs」、「ESG投資」の急速な普及など、目まぐるしく変化しています。リアルな動きをつかむために、『日本経済新聞』(紙の新聞でも、スマホやタブレット、PCで読める電子版でも構いません)を毎日読む習慣をつけることを強くお勧めします。図書館やキャリアサポートセンターでは無料で読めます。企業や役所への就活や就職後も、『日経』がいちばん役に立ちます。

6. その他履修上の注意事項

- ①ゼミは経済学部生の中核になる存在で、毎回出席が原則です。出席が3分の2(公欠がない場合は10回)未満の場合は、単位を与えません。
- ②公欠の場合は1か月以内に届けを出しましょう。届けを出さないと欠席扱いになってしまいます。
- ③授業に無関係な私語やスマホ操作、食事は原則として禁止です。
- ④ゼミ生の集中力を保つため、途中で5分間の休憩を取ります。休憩中は私語、スマホ操作、トイレ、ストレッチ体操など自由にどうぞ。
- ⑤休憩時にはゼミ生の皆さんのリクエスト曲や私の好きな曲など音楽を流します。リラックスしましょう。
- ⑥第1回(4/13)と第4回(5/4=火曜日)はオンデマンド授業※です。それ以外の回は対面の予定ですが、コロナ次第でオンデマンドに切り替わる可能性があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 4月13日＝オンデマンド授業※
ガイドス
①江本自己紹介②ゼミの進め方、評価方法など説明③グループ編成など
- 【第2回】 4月20日 初顔合わせ
①ゼミ生自己紹介(自分を表現する写真1葉以上、自分の出身地、趣味、将来の希望、当ゼミへの期待をパワポファイルにまとめて発表)
②発表順決定(あみだくじかジャンケン)③第3回(4月27日)のスポーツ大会について案内
④教科書「はじめに」＝江本がパワポでお手本発表
- 【第3回】 4月27日 スポーツ大会(西洋経済史の四谷英理子ゼミと合同でゼミ対抗戦@葛友館3階アリーナ)
＝ほぼ確定。アリーナ予約が3月後半以降のため、仮予約。確定後、第1回、第2回で案内します
- 【第4回】 5月4日＝オンデマンド授業※
第1章「金は天下の回りもの——経済とは何だろうか?」＝江本がパワポでお手本発表
- 【第5回】 5月11日
教科書第2章「お金はなぜお金なのか——貨幣の誕生」
①Aグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
- 【第6回】 5月18日 教科書第2章「お金はなぜお金なのか——貨幣の誕生」
①Aグループ回答発表②グループ間ディスカッション③休憩④グループワーク(発表準備、MP対策)
- 【第7回】 5月25日 教科書第3章「見えざる手」が経済を動かす——アダム・スミス
①Bグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
- 【第8回】 6月1日 教科書第3章「見えざる手」が経済を動かす——アダム・スミス
①Bグループ回答発表②グループ間ディスカッション③休憩④グループワーク(発表準備、MP対策)
- 【第9回】 6月8日 教科書第4章「資本主義は失業を生み出す——マルクス」
①Cグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
- 【第10回】 6月15日 教科書第4章「資本主義は失業を生み出す——マルクス」
①Cグループ回答発表②グループ間ディスカッション③休憩④グループワーク(発表準備、MP対策)
- 【第11回】 6月22日 教科書第5章「公共事業で景気回復——ケインズ」
①Dグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
＝期末レポート課題出題
- 【第12回】 6月29日 教科書第5章「公共事業で景気回復——ケインズ」
①Dグループ回答発表②グループ間ディスカッション③休憩④グループワーク(発表準備、MP対策)
- 【第13回】 7月6日 教科書第6章「『お金の量が問題だ』——フリードマン」
①Eグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
- 【第14回】 7月13日 教科書第6章「『お金の量が問題だ』——フリードマン」
①Eグループ回答発表②グループ間ディスカッション③休憩④グループワーク(発表準備、MP対策)
- 【第15回】 7月20日 教科書第7章「貿易が富を増やす——比較優位」
①Fグループ発表②他グループ質問提出③休憩④江本補足説明
＝期末レポート提出締切(LMS上で深夜23:59締切＝遅れたら0点!)